

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	ほどがや市民活動センター アワーズ		
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 横浜市民アクト	
	行政	横浜市	
事業の目的	市民活動及び生涯学習の支援をとおして、市民の理解と参画のもとに、市民一人ひとりが豊かに暮らせる地域社会の実現を目指す。		
事業の内容	(1) 活動場所の提供 (2) 情報の提供 (3) 相談・コーディネート (4) 講習会・研修会などの自主事業 (5) その他市民活動及び生涯学習推進に必要な支援		
役割及び責任分担等	協働契約書第8条の規定に基づき、次に掲げる役割を分担し、その役割についてそれぞれの責任で事業を行う。		
	事業項目	受託者の役割	委託者の役割
	施設の運営全般に関わること	1 市民公益活動等のネットワーク化 2 市民公益活動に関する相談対応 3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集 4 市民公益活動等に関する活動の場の提供 5 地域人材ボランティアバンク事業の実施 6 区民利用施設等との連携による活動支援 7 自主企画事業の企画・実施 8 保土ヶ谷区版地域づくり 大学校への参画 9 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援	1 市民公益活動等のネットワーク化についての調整及び協力 2 市民公益活動に関する相談対応についての調整及び協力 3 市民公益活動に関する情報提供・発信・収集についての調整及び協力 4 市民公益活動等に関する活動の場の提供についての調整及び協力 5 地域人材ボランティアバンク事業の実施についての調整及び協力 6 区民利用施設等との連携による活動支援についての調整及び協力 7 自主企画事業の企画・実施についての調整及び協力 8 保土ヶ谷区版地域づくり 大学校の計画・策定 9 その他市民公益活動に関する企画・実施、活動支援についての調整及び協力
施設の管理全般に関すること	1 設備の管理、保守・点検 2 軽微な維持修繕	1 設備の提供 2 設備管理に関する調整及び協力	

	事務改善に関する取組に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 1 利用者ニーズの把握とサービス向上 2 運営事業団体として必要になる事業の検証 3 「ほ도가や市民活動センター協働運営会議」との調整・協議 4 「ほ도가や市民活動センター評議会」の運営・開催 	<ul style="list-style-type: none"> 1 利用者ニーズの把握とサービス向上についての調整及び協力 2 横浜市として必要になる事業の検証 3 「ほ도가や市民活動センター評議会」の運営・開催についての調整・協力
	その他市民活動センターの管理運営等にあたり、必要となる事務事業に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 1 利用統計に関する業務 2 管理運営事業団体として必要になる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究 4 その他区が行う市民公益活動等に関する施設・事業等への参画 	<ul style="list-style-type: none"> 1 利用統計についての調整及び協力 2 横浜市として必要となる情報公開及び説明責任に関する業務 3 支援センターの管理運営及び市民力の向上等に関する調査研究についての調整及び協力 4 横浜市役所内部の連絡調整
実施期間	平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで		

記入日	令和 元 年 7 月 16 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人 横浜市民アクト ・記入責任者 氏名： 吉弘 初枝 連絡先： 045-334-6306
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 保土ヶ谷区役所地域振興課 ・記入責任者 氏名： 大山 敏彦 連絡先： 045-334-6307

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・年間の事業計画を作成。それに基づき個々の事業を組み立てることで、両方の職員が目的・目標を共有できることが可能、これは今後も続けていく。・相互はもちろんのこと、他施設や他課職員と連携を持ちながら区の課題について共有を図り、事業計画を構築することが出来た。
【今後改善が必要と思われること】 <ul style="list-style-type: none">・事業を企画する段階で、地域や活動団体などの課題や普段感じていることを事前に話し合うことは大切。「多分こうなんだろう」との思い込みでなく、十分なりサーチが必要。・条例施設に位置付けられていないため、施設管理における建物の修繕や機器管理について、行政側も計画を立てることが必要だと考える。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 <ul style="list-style-type: none">・区役所もアワーズも毎年のように職員の交替がある。このことを想定しながら職場全体で対応可能な体制づくりを続けていく。
【今後改善が必要と思われること】 <ul style="list-style-type: none">・協働する中で、仕事の進め方について意識が異なることがあった。協力体制が濃くなる半面、報・連・相が疎かになることが無いよう、引き続き意識統一を図っていくことが必要である。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
<ul style="list-style-type: none">・施設間連携事業の実施からアワーズと区役所職員や施設職員との距離が近くなり、2件の事業連携が成立、その後他の施設や区役所職員からの問合せや相談が多く対応している。相互の強みを生かせる事業と考える。・本年度から完全なアワーズの自主事業となった「地域デビュー講座」では、事業の狙いに沿った講座を実施することができ、お互いの強みを活かしながら効果的な事業とすることが出来た。・他施設からの信頼関係が向上しただけではなく、企業との連携など地域支援の幅が広がってきている。・それぞれの事業がつながりをみせ、効果的な地域人材のコーディネートができています。
自由記入欄
<ul style="list-style-type: none">・いくつかの事業を協働で実施しているが、どの事業にも各課職員が積極的に対応している姿勢に感謝している。・受託して3年目を終え、保土ヶ谷区の間支援組織として存在感が増してきている。しかし、まだほどがや市民活動センター アワーズの存在を知らない方もいるため、広報の工夫及び地域との連携を深めることで、より支援の幅を広げていきたい。